

**次世代育成・働く女性ワークショップ（静岡会場）**  
**～子供を生み育てやすい地域づくり、女性が活動しやすい地域づくり～**  
**開催結果概要**

|                   |                                                                                                                                                                                    |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                | 平成 18 年 10 月 21 日 14:00～16:00                                                                                                                                                      |
| 会場                | 静岡商工会議所会館 3 階 303 号室                                                                                                                                                               |
| ファシリテータ           | 加来 雄二（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)政策研究事業本部主任研究員）                                                                                                                                        |
| 発言者<br>（五十音順、敬称略） | 荒川 和彦（静岡市保健福祉局福祉部保育課）<br>滝 和子（お産とおっぱいのサークル かんがるーぐみ）<br>萩原 邦子（保育支援グループ すわん）<br>松下 光恵（NPO 法人 男女共同参画フォーラムしずおか）<br>吉見 佳奈子（NPO 法人 生き生きネットワーク生き生き子育て緊急サポート）<br>渡邊 郁美（子育て支援センター メリーゴーランド） |
| オブザーバー            | 大城 温（国土交通省中部地方整備局 企画部企画課課長）                                                                                                                                                        |



### 議論のポイント

#### 現状

##### <女性にとっての働きやすさ>

- ・職住が近接し家庭と仕事の両立しやすい環境にある
- ・出産・育児後の復職は容易ではない

##### <子どもの生み・育てやすさ>

- ・子どもを安心して連れて行ける場所が身近にない
- ・子育て中の母親は生活上の不自由さを感じている
- ・父親の育児参加は依然として低調

#### どう改善すべきか？

- 社会全体で子育てを支援していけるようになるとよい
- 出産や育休を終えた女性の復職や社会参加に対する周囲のサポートが必要
- 必要な情報が誰でも入手しやすい環境整備が必要

#### 地域づくり・まちづくりに求められる視点

##### ○子どもの目線に立ったまちづくり

- ・ベビーカーでも安心して移動できる歩行空間の確保
- ・子育て世代が利用しやすい施設整備
- ・子どもが安全に遊べる遊び場の充実を

##### ○地域社会における絆を深める交流の場づくり

- ・子育て経験のある親と子育て中の親同士の交流や子どもとお年寄りの交流などがもっと活発になるような場やきっかけをつくっていくことも大切

## 第1部①：女性にとっての働きやすさの現状について

### ○職住が近接し家庭と仕事の両立しやすい環境にある

- ・ 静岡は首都圏に比べると通勤時間が短くて済むため、子どもを保育園へ預けたり、帰宅後に家事をするといった面では比較的恵まれている状況にあるのではないかと聞かれます。

### ○出産・育児後の復職は容易ではない

- ・ 出産育児で一度仕事を辞めてしまうとその後の復帰は難しい。年齢を重ねるほど仕事も限定され、再チャレンジに二の足を踏んでしまう母親も多い。
- ・ 地域によっては、子どもを預けて働きたいけれども預ける受け皿がなくて復職を断念している母親もいると聞く。

## 第1部②：子どもの生み育てやすさの現状について

### ○子どもを安心して連れて行ける場所が身近にない

- ・ 静岡市は他の大都市に比べれば待機児童はそれほど多くないが、地区によっては子どもの数が多く保育園の開設を望む声もある。
- ・ 静岡市が実施したアンケートでは、保育園・幼稚園にかかる費用の負担軽減や児童館など親子で利用できる施設の充実などを望む声が多い結果となっている。
- ・ かつては路地や空き地が子どもの遊び場であったが、最近では交通事故の心配や事件に巻き込まれる心配があり、子どもを安心して遊ばせることができる場所が限られてきている。
- ・ 子どもを連れて行ける場所は近所の公園や河川敷などが中心であるが、管理が不十分で、子どもを安心して遊ばせることができないところも多く見受けられる。

### ○子育て中の母親は生活上不自由さを感じている

- ・ 子どもが歩けるようになるまではなかなか外出する機会も少ないが、小さい乳児を連れて買い物に出かけたり食事に出かけたりすることを何となくためらってしまう周囲の雰囲気があるのではないかと聞かれます。
- ・ 母親は子どもを預けて働きに出たり自分の時間を持つことに対して罪悪感を感じ、子育てにかかりきりになってしまう傾向がある。
- ・ 静岡は支店経済の街であり転勤族の人が多く、身近に頼ることができる親戚がいなかったり、親しくしていた友人と離ればなれになってしまったりして、母親は孤立しがちである。

### ○父親の育児参加は依然として低調

- ・ 最近の若い父親は育児休暇の取得したいと思っている人も増えている傾向にあるが、現実には仕事に追われてなかなか育児参加できない状況にある。
- ・ 子育てにおいて父親の役割は重要であるが、世の中の父親は働き過ぎ。子育ての場面において父親の姿があまり見えてこない。

## 第2部：どうあるべきか・いかに改善すべきか？

### ○社会全体で子育てを支援していけるようになるとよい

- ・ 母親は子どもを預けて働きに出たり、自分の時間を持つことに対して罪悪感を感じて子育てにかかりきりになってしまう傾向がある。周囲が母親の背中を後押ししてあげるような働きかけがあると母親の意識も変わると思う。
- ・ 静岡は地域のスポーツ少年団などの活動が盛ん。子どもがスポーツ少年団に参加したことをきっかけに親同士のつながりを持てるようになった。
- ・ 子供会活動に地域のお年寄りも参加して子どもと高齢者の交流が持てるとよい。そういう中で子どもはいろいろな学ぶことができるし、高齢者にとっても子どもと遊ぶことが生き甲斐に

なるのではないかな。

### **○出産や育児を終えた女性の復職や社会参加に対する周囲のサポートが必要**

- ・ 母親は子どもを預けて働きに出たりすることに対して罪悪感を感じて、子育てにかかりきりになってしまう傾向がある。周囲が母親の背中を後押ししてあげるような働きかけがあると母親の意識も変わると思う。
- ・ 出産育児が終わった母親の職場復帰を促すためには、スキルアップというよりもマインドアップを支援するほうが大切。

### **○必要な情報が誰でも入手しやすい環境整備が必要**

- ・ 意欲のある母親は自分で情報を探し出して行動できるが、第1子目を抱えた母親は、どこに相談をしたらよいのか、どんなサポートを受けることができるのか知らず、行動をためらう傾向がある。誰もが必要なときに必要な情報が得られるようなしくみを整えておくことが必要であると感じる。

## **第3部：地域づくり・まちづくりに求められる視点**

### **○子どもの目線に立ったまちづくり**

#### **＜ベビーカーでも安心して移動できる歩行空間の確保＞**

- ・ 歩道があっても段差があってベビーカーを押して歩く際に苦勞する。また、歩道は自転車も多く走っているため危険を感じることもある。

#### **＜子育て世代が利用しやすい施設整備を＞**

- ・ 子育て中は車を利用することが多く、公園に遊びに行く際にも駐車場がある公園を選ぶようにしている。子連れの親が利用する施設にはしっかり駐車場を確保してほしい。
- ・ 子どもの目線で街路や駅、公共施設など身近な空間を見直すことも大事ではないか。施設としては十分にあるが子どもにとってやさしいものになっていない。

#### **＜子どもが安全に遊べる遊び場の充実を＞**

- ・ 交通事故の心配や事件に巻き込まれたりすることがなく、親の目が行き届く範囲で近所の子ども達と一緒に遊べる場所が身近にあるとよい。
- ・ 小さな地域単位で、子どもの遊び場となり親同士の交流の場ともなりうる広場的な空間を設けていくといいのではないかな。そういう場所を地域の大人達が自分たちで管理していけるとよい。

### **○地域社会における絆を深める交流の場づくり**

- ・ 静岡は地域のスポーツ少年団などの活動が盛んで、子どもがスポーツ少年団に参加したことをきっかけに親同士のつながりを持てるようになった。
- ・ 子育ての苦勞を経験して、他の母親の手助けをしたいと思っている人も多い。親同士の交流によって互いに支え合えるような地域になるとよい。
- ・ 地域の高齢者と子ども達との交流や親同士の交流がもっと活発になるような場やきっかけをつくっていくことが大切になってきているのではないかな。